

12月定例会報告目次

新年あいさつ	2
注目したい事業	3
一般会計補正予算・質疑	4
議案賛成・反対討論	5～6
常任委員会・部会報告	7
一般質問	8～13
審査結果・請願陳情	14
議員視察報告：阿智村	15

笑顔あふれる安心・安全な
健康長寿の町づくりを

議会議長 横澤はま

明るく、希望ある新春を皆様お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は午の年、干支では活気や成功、前向きな力強さを象徴する縁起の良い年とされております。年頭に当たり、議会を代表し謹んで新春のご挨拶を申し上げます。皆様には常日頃より町政の発展、議会運営に対し、ご支援とご協力を賜り感謝とお礼を申し上げます。

昨年は町制110周年・合併70周年の記念すべき年でありました。議会基本条例を見直し、町民の皆様に見える形の議会を目指して取り組んでまいりました。議員の任期も来年4月までとなります。少子高齢化が加速し、この1年間で人口およそ100人近く減少となり、九千人を割るのではと憂慮される中、今この一歩に全力を傾け、笑顔あふれる安心・安全な健康長寿の町づくりに向け、行政共々力を合わせ、努めて参ります。また、議員一同心一つにして、誰一人取り残さず、心温かく優しい町を目指し、努力邁進して参りますので、より一層のご指導ご協力を賜りたく、新年が皆様にとって幸多き年でありますようお祈り申し上げます。

池田町議会・議員から新年あいさつ

議会の使命（チェック・提案・協働）を果たすよう同僚議員と取り組みます。

薄井孝彦

今年の干支「午（うま）年」にちなみ、行動力で力強く前進する年にしたいと思います。どんどんお声がけください。

大厩美秋

笑顔を忘れず、対話の中での気付きを大切にしながら、学ばせていただく一年にしたいと思います。

矢口結以

輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も町民の皆様と希望溢れる池田町に致します。

山崎正治

議員として最後の一年です。今、自分に出来る事、させて頂ける事を大切に、住み良い町になるように尽力致します。

三枝三七子

昨年は実質賃金がマイナスとなる見込み、今年は物価安定化と実質賃金がプラスとなるように。町民の皆様のご多幸を心より祈念申し上げます。

和澤忠志

活発な討論で、皆様の多様な意見を施策に反映し、秋の実りを笑顔で皆様が迎えられるよう励みます。

安部 誠

令和8年一月
今年もよろしく
お願い致します。

町民の生活を支える施策を充実させ、安心して暮らせる町を目指します。憲法を守り、戦争しない国にしましょう。

服部久子

今年も池田町の10年先を見すえた政策提言を行っていきます。

中山 眞



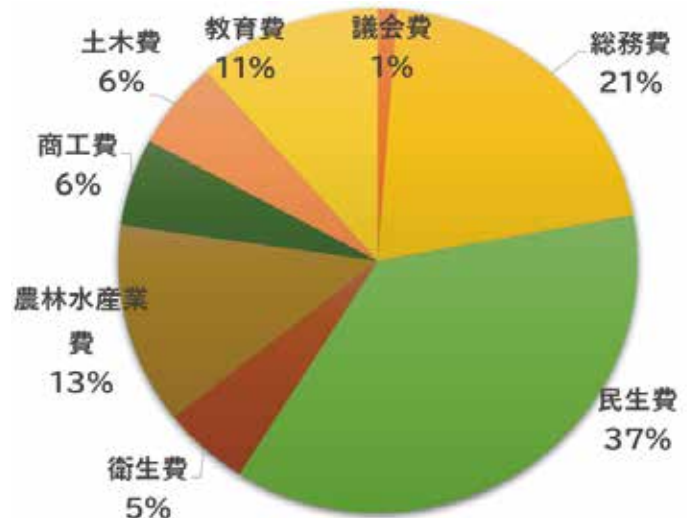
令和 7 年度 12 月定例会 補正予算

令和 7 年度 12 月議会 は 12 月 5 日から 16 日までの 11 日間の日程で開催された。一般会計補正予算審議、指定管理者の指定（ハーブセンター・ガーデン）など、議案 12 件、陳情 3 件、請願 1 件を審議し、全ての議案を可決した。補正後の一般会計歳入金額は当初より増額となり総額 59 億 2 千 5 百 29 万 5 千円となった。

歳入で注目すべきは、国からの物価高騰対策として地方創生臨時交付金のうち 9 千 6 百 48 万 4 千円、子育て応援手当事業 2 千 163 万円などがある。

(万円)		
令和 7 年度一般会計		
議会費	5,769	…議員の報酬や議会の運営費。
総務費	10 億 1,584	…公務員の給与や選挙、財産管理・税金の徴収。
民生費	17 億 8,713	…障害者や高齢者への福祉、子育て支援等の経費。
衛生費	2 億 6,374	…環境保全、疾病予防、健康増進。
農林水産業費	6 億 2,625	…農林水産業の振興や関連施設の整備
商工費	2 億 7,258	…商工業や観光の振興のために支出する経費
土木費	2 億 7,318	…道路、橋、公園、河川の整備の経費
教育費	5 億 5,744	…教育委員会が学校教育・社会教育・施設の経費
総額	59 億 2,529	

■ 予算相対的円グラフ ■



令和 7 年度補正予算第 7 号 3,789 万円

令和 7 年度補正予算第 8 号 1 億 3,315 万円

12 月定例会補正予算総額

増額 1 億 7,105 万 2 円

注目したい事業

・ **物価高騰対策商品券事業しあわせ商品券** 9,648 万 4,000 円
全町民に 1 万円の商品券を配布する。令和 8 年度 2 月中に配布予定。

・ **物価高対応子育て応援手当** 2,163 万円
高校 3 年生までの子どもに 1 人 2 万円支給。令和 8 年 3 月中に支給予定。
(令和 8 年 3 月 31 日までに出生された方～18 歳まで)

・ **子育て世帯もえるゴミ専用指定袋交付事業** 33 万 8,000 円
物価高騰対策として子ども 1 人 (未就学児) に 10 袋 (100 枚)、おむつ廃棄使用の
ごみ袋の配布をする。令和 8 年 2 月中の配布予定。

・ **産地パワーアップ事業** (国県: 半額、事業者: 半額負担金) 614 万円
4 事業者に収益向上のため田植え機・色彩選別機などのリース料補助。

・ **酒米生産者支援事業** 242 万 2,000 円
大北農協・酒造会社・酒米生産者へ補助。これは食糧用米の価格高騰に対し
酒米との価格差解消を目指し、酒米農家への支援ともなる。

・ **医療給付事業** 100 万円
8 月から 18 歳までの子どもの医療費窓口負担無料化したため。

●不法投棄処理費 16万5千円

問 不法投棄の状況は。

答 田の入線路肩に800キロほどの屋根瓦が投棄されており、回収した。

要望 粉碎機が町に2台あるが、地域ごとに持ち回りして、枝のチップ化を進めるよう要望する。

●マイナンバーカード更新費用 39万8千円

問 電子証明書の更新と18才以上の方の更新はそれぞれ何名か。毎年更新料が発生するのか。

答 令和2,3,4年度にマイナポイント特典があり、カードを作成された方が集中している。そのために、更新事務作業が既存の職員では間に合わず、任用職員を増やしたい。今後も状況により計上していく。



●創業支援 250万円

問 創業支援250万円の内容は。

答 アメリカ人の方が蜂蜜酒を造る会社への支援。
(WICKED WAY MEAD 株式会社)

●観光協会補助 100万円

問 観光庁事業補助金100万円について、地域限定旅行業登録にも、およそ150万円弱のお金がかかる。今100万円用意できないとなると、再度町に求められるのではないかと不安。決算内容や収益状況など、情報公開が必要ではないか。

答 決算書は提示する方向で考えている。議員と懇談の場も設定したい。地域限定は国内旅行で一番取得しやすいの免許だが、多様な事業に対応してもらうことが必要である。

問 旅行業について地域限定登録では白馬村や小谷村などは対象エリア外でツアーできない。今後も外部業者に依存するのか。町の姿勢を示してほしい。

答 観光協会も様々な課題を抱えつつ、資格を取得し一歩踏み出した。現在、事業資金の100%が町の持ち出しだ。そこを見据えていかなければならない。情報共有と町の方針を明確に伝えたい。「いけ弁」事業も区分けし、可能であれば商工会と、観光協会を考えをまとめ、来年度予算編成で明確化したい。

予算決算 特別委員 会審議

●障がい者福祉 1,404万9千円

問 障がい児入所給付金の利用者が増えたのは何名か。全体で何名か。

答 今回増えたのは放課後デイサービスが10件、やむを得ない措置で2件。9月の状況は児童発達支援が15名、放課後デイサービスが28名、やむを得ない措置で4名である。

●教育 39万2千円

問 中学校体育館の雨漏りは応急措置か？

答 本格的な修繕は何百万と見込まれるので、防水材で隙間を埋める措置をして様子を見る。

問 支援学級の児童が増えたのでパーテーションを12セット購入するが、支援学級の現状は。

答 集中して学習に臨めるよう教室を区切る。来年度、支援学級に入る生徒が10数名増える予定である。

問 来年度支援学級が2クラスから4クラスになるそうだが、加配の先生の対応は。

答 特別支援学級が増えれば、教員を増やす。

●農業振興 614万円

問 産地パワーアップ事業補助金の614万円の詳細は。

答 ウイングハロー、畦塗り機、光選別機、田植え機8条植えの4件のリース料が1,351万1千円で、そのうち半額の614万円が国から交付される。



池田町ハーブセンター指定管理者（いけだ地域ラボ）に関する議案

質疑

中山眞議員：審査会決定内容に反対するものではない。審査会の内容が全て非公表であり、先日の全協議会においても核心部分の説明がなく、この場で採決をするには判断材料として不足だ。決定した「いけだ地域ラボ」は事業主と他の事業主がコラボした組織作りを進めている等の話があり、事業形態はどうなのか。また、設備資金の説明が一切ない。町内スタッフの採用など運転資金の説明もない。組織体制、財務状況はどうなのか。花とハーブの里は今回どうするのか？町はどう連携するのか？

町長：今まで関わったことのない事業者と連携はない。初年度は白馬ハイランドホテル株式会社に職員給与3か月分ほどを借入され事業を始める。IT事業者補助金（国）も受け、組織体制は地域ラボメンバーを中心に、これまで雇用されていた方々と話し合いをするようだ。ハーブについては、「いけだ地域ラボ」は歴史・農業・観光を象徴する重要な地域資源としている。日常と観光の双方でハーブを身近に感じる仕組みを構築し、教育機関や生産者との連携を進め、地域内外への理解と安心を高め、池田町をハーブ・ブランド全体の魅力向上と持続的な地域振興をすると聞いている。これまでの事業者でる坊市場とスムーズな引継ぎをしたい。

大出美晴議員：この団体の規約の中で代表役員らの報酬の上限の記載がなく不安だ。合同会社設立時には明確にすべき。理由は資本金が発生する可能性もあり、事業が破綻した時に、全部持ち逃げるようなことを予防して頂きたい。その為に、報酬の上限を決めるべき。寄付行為の記載についても、反社会的団体からの寄付は拒否とする記載が漏れている。町に迷惑がかからないように。

反対討論

和澤忠志議員：反対の立場から討論する。計画、資料を見ると素晴らしい。本当に我々が願っているようなことをやってくれるなら、これは本当に素晴らしいと思う。私はこの町全体これからのことを考えると、本当に商売をやるのが初めてだと。構成員の中には、多少は商売やっていた人がいるが、社長が商売を知らないと、非常に心配だ。これから合同会社を作るそうだが、日本経済は物価高、人手不足で大変だ。心配される面もある。最近は倒産件数が全国で非常に多いと聞いている。このような経済状況を反映させた事業計画かどうか、しっかり確認ができない状況だ。自己資金の調達は2千万円近く用意してないと、この事業はうまく行かない。資金不足が非常に心配され、途中で頓挫すると思い反対とする。

賛成討論

三枝三七子議員：今年行政はハーブセンターとハーブガーデンについて、パブリックコメントとアンケートを求めている。その結果、ハーブセンターには改善点が多く求められていると客観的に把握することができた。決定された事業者の資料にはそれらの問題がほぼ解消されると思われる。先ほどより反対・質疑の中で、赤字になる、頓挫する、逃げるんじゃないかなど、かなりネガティブな発言がある。しかし、本日資料を見て驚いたが、外部アドバイザー掛谷氏は今、国・観光庁から重要な人物とされている人。そして白馬の奇跡を起こした13軒の宿泊事業者の1人。そのような方が田中さんと一緒に仕事をしようという話を下されたことは、町にとってメリット。この決定は正式・公平性を保った審査会で決定されている。私はこれを尊重したい。

※ 審査結果：賛成多数で可決



議案：令和 7 年度池田町一般会計補正予算（第 7 号）

ー 町観光協会への補助金 100 万円をめぐる ー



反対討論

三枝三七子議員：観光一般経費の補助残額の 100 万円について。この金額の大小ではなく重箱の隅をつつくとも言われたが、通すことの方が簡単だ。しかし観光協会の姿勢に関わるあり方について疑問を感じさせる。総合審議前に町観光協会の過去 3 年間の決算書では余剰金が令和 6 年度が 300 万円、5 年度 135 万円、4 年度は 400 万円。黒字運営で、観光協会は町より 2000 万円を超える補助を毎年受けている。町観光協会の場合、一般社団法人は非営利が原則で活動の結果として利益が出た場合、その利益は法人内部に留保されているはずであり、その余剰金は翌年度の事業観光振興活動費の経費・施設の維持改修、新たなプロジェクト準備などに充てなければならないはずだ。この 100 万円は余剰金から支出できないか。町行政も観光協会のあり方の質問には自立を促したいとしつつ、補正に計上している。地域限定の旅行業取扱主任者を今年は 3 名の方が取得されたようだが、今後も旅行業登録等の経費を、町に要請するのではないか。私はこの予算案について反対とする。

賛成討論

中山真議員：この事業はただ単に観光協会単独の事業と私は捉えていない。池田町内の多くの特産品、生産者・事業者を盛り立てる事業で、観光協会単独ではなく、行政・商工会から観光協会、この三身一体で進めるべき事業。国の補助金を獲得し事業展開をすることは池田町の活性化につながる。大いに賛成する。もう 1 点は、補正予算の一部反対は、予算全項目を否定することになる。否定した場合に行政運営に大きな支障が出る。特に事業のストップ。職員の給料の支払い等が滞ってしまう事にもなる。以上 2 点の理由で、この補正予算について賛成する。



反対討論

矢口結以議員：観光庁事業補助金 100 万円を町が補助する件で、観光振興の重要性について否定するものではない。池田町の魅力発信や観光客を誘致する為の施策、関係人口の創出など観光事業は、この町に大変重要だ。行政の支援は特定の組織を支えること自体が目的ではなく、町の利益につながる形で行われるべきだ。現状では観光協会の本来の役割が果たされているとはいえない状況。当初予算で町補助金の使途や事業形態について決算書の資料では、今回の助成の妥当性を判断できない。また町が事業費を 100% 補助しているが、なぜ全額補助をする必要があるのか。その理由や考え方にも十分な説明はない。公平性の観点も踏まえ、町もしっかりチェックしていく必要がある。助成ありきではなく観光協会が担うべき役割や機能を改めて整理し、支援の必要度合いを検討すべきと考える。今後、観光協会のあり方も含めた有効な観光施策が示されることを期待し、以上の理由から本議案には反対とする。

※審査結果…賛成多数で可決となった。



本 会 議 討 論 ・ 最 終 日

常任委員会報告・部会報告

振興文教委員会

年間通しての継続調査事項

- ・地域で育む保小中のあり方
- ・地域計画を含む農業問題について
- ・美術館、創造館の在り方について

中学校部活動の地域展開について、関係者から現状や課題を伺い、子どもたちが安心して活動が続けられる環境づくりについて意見交換を行いました。また、統合後の保育園についても、現場の様子を直接知るため、視察を計画しており、保育の実情や課題を丁寧に受け止めていく予定です。農業や美術館などの分野については、今後の調査に向け、委員が関心をもって情報収集をしています。委員会として、まずは現場の声を大切にしながら、町の実情に合った形で一歩ずつ進めていきたいと考えています。

1月には、池田保育園へ視察に伺います。



総務福祉委員会

年間通しての継続調査事項

- ・デマンド交通を含めた公共交通について
- ・池田町の町づくりと住民福祉の向上
- ・ゼロカーボン社会の推進に関する調査研究



いよいよ来年！

令和8年度デマンドバスの試行運転が始まります。そして令和9年度運行開始予定の運びとなる予定だそうです。今後、町民の皆様に、今までより一層の闊達なご意見・ご要望を頂き、それを議会としても行政へ反映させるべく、具体的な提言を行っていきたいと考えています。1月には、長和町へデマンドバス「ながわごん」の視察に参ります。池田町らしい公共交通の在り方を模索をすべく、社協からも意見をお聞かせ頂きました。



議員なり手不足対策部会

昨年5月に新部会として立ち上がりました。

私たちの任期は来年4月までとなりました。

全国町村議会の議員の平均年齢は64.6歳。最年長は93歳です。(全国町村議会調べ)

全国町村議会議員の平均報酬は平均21万8218円。(池田町は18万9千円)

直近4年間(2019年5月～23年4月)では、選挙を実施した全国926町村のうち無投票だったのは254町村(27.4%)、定数割れは31町村にも上り、議員のなり手不足が顕著になってきています。

我が町も他人事ではありません。次の選挙時に立候補される方が増えるのか。

報酬も含めて、検討しています。

意見交換会や意見集約を重ねていきます。ご協力をお願いします。

8人の議員が町政を問う



12月議会は町民の方々に関心をもって傍聴に来て頂く為に、1人の質問時間を40分と短くし、土曜日に一般質問を開催しました。

質問者	主な質問事項	質問者	主な質問事項
三枝三七子議員	・鳥獣害対策 熊について ・福祉を持続させるために	服部久子 議員	・補聴器購入の補助を求める ・学校行事の音楽鑑賞・観劇補助金について ・病児保育の充実を求める
中山真議員	・令和7年度町長施策方針の進捗状況とビジョンの明確化 ・新年度予算策定の町長方針を問う	大出美晴 議員	・ワイン祭りについて ・自治会・地域コミュニティーに使いやすい補助を ・地域おこし協力隊について町の考えは ・災害を想定した危機管理は ・農業法人信州池田アグリ株式会社について
山崎正治議員	・町制施行110周年・合併70周年記念事業の総括は ・官民学の連携で町の課題解決を ・義務教育の中で読書と活字離れを問う	安部誠 議員	・「ただいま★いけだまち」の推進について
大塚美秋議員	・災害時避難所運営について ・池田町イメージキャラクターの活動状況と今度は	和澤志志 議員	・農業政策全般について
※次ページから 各議員の質問があります。			





鳥獣害被害と
福祉の持続を問う

三枝三七子 議員

問

当町の森林整備計画も含め緩衝帯の整備など、課を越えた横断的な対策を求める。

答

農政係と連携し、鳥獣被害防止柵設置予定箇所の整備をし、設置後、地元組織や隣接農地耕作者により、周辺の除草等の管理を継続されている。森林環境譲与税の活用は、農政係と協力し、実施方法や管理体制を考慮し、どのような方法がよいか検討する。

問

緊急銃猟が必要な場合、町民への周知プロセス・避難はどうするか。今現在、町民には全く案内がない。どうなっているか。

答

緊急銃猟体制は喫緊の課題と認識している。課題は今年からスタートしたばかりだ。市町村のみならず、国・県も対応は手探りだ。北アルプス地域や県内自治体の動向を参考に、住民への周知方法の整備・避難が必要な場合における県警察関係部署との連携について早急に整備を進める。

問

持続可能な鳥獣被害対策・ガバメントハンター[※]の育成・雇用はどうするか。

答

ガバメントハンターは、なり手不足であり、雇用する場合、人材をどのように探すかが問題。近隣市町村にはガバメントハンターの雇用はまだ無い。町は、北アルプス地域や中信地区に横断的な雇用を県に要望している。



今年度町長施政方針の
成果を検証する

中山 眞 議員

問

重点政策で住宅確保、民間活用集合住宅の推進、空き家対策・店舗再構築、町の情報発信、土地利用計画の見直しを掲げている。町有地の活用と集合住宅の推進状況は。

答

旧北保育園跡地の活用を第一に考え、地元自治会との意見交換、また住宅用地として民間事業者への売却を視野に入れているが、売却の具体的な動きにまでは至っていない。今後集合住宅の活用に限定せず、民間事業者による住宅造成も考えている。

問

空き家解体事業と空き家バンク事業の状況は。

答

R6年度の空き家解体補助金は17件、850万円。今年度は現在14件、700万円の活用がある。補助額を50万円に増額したことで、5年度補助額20万円、件数5件の実績を大幅に上回った。空き家バンク登録事業は、R6年度売買契約19件、賃貸契約4件。今年度は今まで9件の売却、3件の賃貸契約が成立している。店舗改修は5件の実績見込みである。

問

土地利用計画見直しの町長基本指針は。



町制施行110周年・合併70周年記念事業の総括は

山崎 正治 議員

問

町制施行110周年・合併70周年記念事業の総括を問う。

答

ロゴマークとキャッチフレーズの作成に始まり懸垂幕の設置、NHKのノーゾーのひらめき工房では約300人の参加、町ポロシャツを販売。記念式典へは約150人の参加、タイムカプセルには20人の参加、元気なまちづくり事業補助金の記念関連は12事業の交付決定、記念誌の発行、記念映像の作成を行った。

問

町の芸術文化をいかに後世に残して行くのか問う。

答

芸術文化の継承には、まずはそのものを正しく知ることが必要である。その上で親しんだり、良さを感じたり、自分も関わりたいと思うたりする体験から当事者意識が生まれることが大切だと考える。その観点から、「民衆の歌」音楽祭は大きな役割を果たした。今後も、まさに民衆から湧き起こるようなアイデア溢れる活動を地域の皆様にぜひとも願っている。

問

各校の校歌並びに県や、地域に根ざした童謡唱歌等をいかに歌い継承していくのか問う。

答

「信濃の国」は現在、4年生の社会科において「長野県の学習」という単元で教材として扱っている。校歌は各学校とも行事等で大切に

今後県内外の雇用事例を参考にし必要性や運用に関する手続き等検討する。

※ガバメントハンターとは、狩猟免許を持ち、野生鳥獣（特にクマなど）の捕獲や管理を専門に行う自治体の職員のこと

介護の現場からの声を聴いて

問 現在日本では年間8日間に一件の介護事件となるほど人手不足。県も、介護人材不足の問題に、新規就労者の育成と定着化には補助金措置したが改善はない。当町の状況を確

認したところ、民生委員の平均年齢が68.7歳。登録ボランティアは240人、多い世代は60代、70代。担い手の確保とすべき事を、町の考えは。

答 現在総合福祉センター運営委員会の人材不足対策検討部会で人材確保を検討している。町内の事業所とも問題意識の共有する場で、人材不足、課題解決を、事業所と共に考える。

問 この現場の声を聞く会の際、大変な話を聞いた。50代後半になるとケアマネジャーの更新をしない。その理由は、多額の費用がかかり、研修も時間が取られるという。長野市は助成金があるが、町でも助成できないか。

答 今、大北障害保健福祉圏域自立支援協議会で、事業者向け資格取得等のアンケートを実施している。予算措置を検討している。（この後、県議会で笹淵保健部長が「国も5年ごとの更新は見直しを検討している」と答弁）



答 移住希望者が土地等の制限で他市町村に流れる事案がある。当町の景観、自然環境を守りながらも、土地利用制度の規制緩和を審議中である。

問 R6年の人口動態で、転入が転出を14人上回っているが、自然減がそれを上回り人口125人減となっている。出生数は5年連続20数人である。「ただいま★いけだまち」の主題である若年層の転入状況は。

答 15〜39歳の今年度転入人口はこれまで66名、年度末で昨年同様の111人を見込む。

問 中小企業振興条例に基づく円卓会議の進捗状況は。また、中山間地域農業農村整備事業の進捗状況は。

答 円卓会議は今年度中の再開を目指している。中山間地域農業農村整備事業は各地域や団体、多くの町民と意見交換を行い、地域での農政懇談会を行っている。事業申請状況は現在、県の農地整備課で精査し、今年度内に農政部に諮られる。R8年度県から国に申請、R9年度実施に動き出す予定。事業主体は長野県。

問 今の時点で考える町長の重点施策は。

答 ①住宅と雇用・子育て施策で人口減少対策に取り組む。②関係人口の創出とリジェネラティブ（再生・回復）への挑戦。③「暮らしやすさ・移動のしやすさ」を徹底追及。④情報発信の抜本的見直しの4項目である。



歌っている。早春賦は中学・高校の音楽の共通教材であり、「北安曇郡歌」や「池田小唄」は、総合的な学習の教材として学校に伝えている。

官民学の連携で町の課題解決を

問 若者（学生）と地域おこし協力隊がコラボし、地域事業者が抱える課題解決のアイデアをプレゼンテーションする。若者ミーティングの先進型を提案する。

答 町民の方をはじめ、若手職員、地域おこし協力隊や地域プロジェクトマネージャー等の意見があれば検討する。

義務教育の中で、読書と活字離れを問う

問 池田町の義務教育の中で、読書の現状を問う。

答 本の役割や読書の重要性は改めて見直されている。各学校では図書館を起点として読書指導に現在も精力的に取り組んでいる。

問 活字離れと言われる現代、タブレットが全員に付与されている教育の現場で、いかに読書の推進を図っているのか問う。

答 高瀬中では、今年度で14回目となるビブリオバトルを行っている。また、町としては新生児にブックスタート事業としてファーストブックを、小学校1年生にセカンドブックを贈り、読書に親しむ土壌づくりに努めている。





災害時避難所運営について問う

大厩 美秋 議員

問

全自治会に配備された350ℓ簡易給水槽の用途は、飲料水用と捉えてよいのか。

答

当該給水槽は、外装と内袋からなり、内袋は衛生状態を保つため、飲料水用として利用していただける。

問

町の給水車の対応や各地区の対応など、住民に飲料水を提供できるまでの体制は。

答

町の1も水槽2台を使って各自治会の給水槽へ運搬する方法と、各地区の自主防災会が簡易給水槽を車載して、上水を提供できる施設に取りに来ていただく方法で行う。進入経路や配水方法など、自主防災会へ情報提供を図る体制を整える。

問

トイレカー2台とトイレトレーラーを導入したが、災害時の設置基準は。

答

設置基準は設けていないが、トイレカーは、1台に洋式トイレ2室、トイレトレーラーも洋式トイレ2室備えている。避難所では、男女比率など状況に応じ使い分けを、トレーラーは便槽タンク大容量で特徴を活かし配置をする。

問

各自主防災会でも簡易トイレの準備は必要であり、「自主防災組織補助金」の対象にすることを提言する。



補聴器の購入補助を求める

服部 久子 議員

問

前回、高齢者の補聴器購入補助を求めたが、町は、前向きに検討すると回答した。検討結果を聞く。

答

福祉基金を活用した補助を検討する。

問

近隣では、大町市、安曇野市、塩尻市、松川村が実施し、松本市は来年度から実施する。いつ実施するのか。

答

前向きに検討していく。

音楽鑑賞・演劇鑑賞の補助金について

問

小中学校の音楽・演劇鑑賞は人格形成に重要である。他の学科と同様に義務教育の一環と考える。保護者に鑑賞代の負担をすべきでないと思うが。

答

音楽・演劇鑑賞は子供の情操を育み、大切な教育活動と認識している。北安曇郡の全教育長参加の会議で話題にしたが町の半額負担が妥当とした。変更する考えはない。

問

憲法に、「国民は健康で文化的な最低限の生活を営む権利」とあり、教育基本法にも「義務教育は無償」として当然無償にすべきでないか。



ワイン祭りの手ごたえは

大出 美晴 議員

問

今回のワイン祭りはどうであったか。

答

今回のワイン祭りは約750人の参加者となった。5年ぶりの開催となったが、スタッフが協力して運営できたことが大きな成果の一つだといえる。天候にも恵まれ好評であった。今後反省会等において総括を行い来年度につなげたい。

自治会や地域コミュニティに

使いやすい補助を

問

自治会や地域コミュニティに使いやすい補助を。

答

多くの自治会が年度で切り替わることは認識している。そのため、検討する時間的余裕が少ないことも事実である。自治会協議会や自治会パートナーを通じ事前に情報を周知し、相談に乗れる体制を来年度はとっていく考えである。

地域おこし協力隊の町としての

考え方について

問

地域おこし協力隊の正規職員への積極的な人材確保は進められないか。



池田町のPR活動
がんばってます！
リニューアルも期待してね



答 確かに簡易トイレは、必要な物資と考える。補助対象としたい。他の物資についても柔軟な対応をしたい。

池田町イメージキャラクターの活動状況と今後は

活動状況と今後は

問 「てるみん・ふくみん」は、商工会の企画運用により2001年に誕生し現在に至る。他の自治体も同様の始まりだったが、管理運用は、商工会から自治体に移管されている傾向がある。当町も町のイメージキャラクターとして活躍してもらうために、より身近な町への移管を提言する。

答 今回の提言をきっかけに、これから商工会と協議していく。

問 「てるみん・ふくみん」は、着ぐるみとなり13年間活動し続け疲れが見える。リニューアルの提言をする。

答 てるてる坊主の妖精として、世代を越えて、より多くの方々から親しまれ、愛されるようにリニューアルを考えていきたい。

答 義務教育を理由にすると議論が大きくなり私が言うことには無理がある。

問 子育て世帯は、物価高などで家計の負担が大きくなっている。音楽鑑賞の保護者負担の30万円を町が支出できない額ではないと思うが。

答 町の子育て支援策は、給食費の無料化や入学祝い金、医療窓口負担金無料化などを行っている。保護者や学校・保育園の要望を聞き対応を図る。

病児保育の充実を求める

問 北アルプス連携自立圏事業の病児保育は、議員の意見を施策に反映させる場がない。前回改善を求めたが、理事会ではどうなったか。

答 広域の事業と切り離され難しい。今後もちり強く話していく。

問 対象年齢が1歳から未就学児までとなっている。他市町村は、生後5・6カ月から小学3年生迄である。対象年齢の拡大を求めるが。

答 当町の考えだけで対象年齢を拡大できない。安全確保の観点から対象年齢の拡大は考えていない。

問 南に通勤する保護者が多い。病気の児童を大町まで連れて行くのは負担が大きい。あづみ病院の協力で病児保育ができないか。

答 病院に聞いて回答する。



答 直接的なエスカレーター式のような雇用には結びつけることはできない。ただし、正規職員を含め、地域プロジェクトマネージャー、集落支援員、会計年度任用職員等の募集に対し、現役の協力隊員が応募することはできるので、対象の隊員に受験を進めるアプローチはできる。

災害を想定した危機管理体制は

問 自主防災会を中心とした地域の取り組みをどう支えるのか。特に町の考えが自主防災会等と、うまくかみ合っていない気がする。その点をどう考えるか。

答 行政側の情報伝達等がうまく伝わっていないことは事実である。理由としては自治会長の兼務が多く毎年入れ替わるため、理解や継続性が保たれず、引き継がれないことが考えられる。訓練を維持し理解者を増やし、根強く町民に浸透させていく。

農業法人信州池田アグリ(株)について

問 農業経営をどのように考えるか。

答 卸や小売りへの対応をし、信頼と認知度を向上させる。担い手を育て一人前にする。そして規模拡大し耕作ができる



ワイン祭りの様子

真の農業法人として会社の独り立ちを目指す。





「ただいま★いけだ
まち」の推進について

安部 誠 議員

問 11月8日の交流センターかえでの記念式典で、高瀬中学校生徒が意見発表したアンケートの「将来も（池田町に）住みたいと思わない人」の結果は26人中18人・70%が「住みたくない」との結果だった。この結果への率直な思いを問う。

答 素直な反応だと受け止めた。町が好きですかという問いであつたら、異なる結果になっていた。子どもたちが大人になって町が自己実現できる場になれるように努めていくのが、我々の役目である。発信が足りない部分があると感じている。

問 学校教育の場でのシビックプライド※向上への今後の取組みを問う。

答 向上のポイントは人とのつながりで、頑張っている人や、素晴らしいものが作り出されていることを知ること、子どもにも当事者意識が生まれる。今後とも地域に学ぶ学習を大切にしていきたい。

※シビックプライドとは、地域や自治団体に対する住民の誇りや愛着を表す言葉



米作農業を守るための町の政策は

和澤 忠志 議員

問 高市政権は儲かる農業政策の為2兆5千億円の「農村特別枠予算」を計上し、人口減少等により余ったお米を輸出拡大し、生産量を維持する政策を掲げている。町の輸出推進をどのように考えているのか。

答 台湾への輸出は信州池田アグリ株を通して事業を展開することを考えている。海外への積極的なPRが重要と考えているので取り組んでいきたい。

問 節水型乾田直播が注目だが、コストが3〜5割削減になると言われているが。

答 省力化コスト低減のメリットはあるものの育成・収量の不安定さや技術・知識・経験値の乏しさといったデメリットがある。今の段階での推進は難しいとの考えである。

問 白馬ファームでは今年2ha生産し来年も拡大していきたいと考えているとの事、法人経営ではメリットを優先しているが。

答 町内でも取り組んでいる農業者がいるのでその方の声を聞いて調査をしていく必要があると考えている。

問 平地で20a〜30aの区画になっているが畔抜きして50aの区画に出来る所は進めて欲しい。

住民との懇談部会

「町民の皆さんと議会との懇談会」

令和7年10月27日、18時より役場大会

議室で、町民参加者11人と議員11人で

懇談会を持ちました。2つのグループに分かれて、町政や議会に対して日頃の思

いをお話していただきました。ご意見ご

要望は、2つの常任委員会で検討し、町

に提案して参ります。ご参加ありがとうございました！

交通・自治会について

交通・自治会について

・移住して4年が経過。自治会の役員も高齢化により厳しい状況。特に、移動手段に困っている。

・講座をやっても足がな行かない。出張講座も考えてほしい。

・自治会の役員の成り手がない。出かける手段がない人にデマンドバスの実施を望む。

広報について

・44年前に移住した。池田町を元気にしたい。現役の人なかなか参加してもらえないが、自分は町の行事にはなるべく参加している。みのり塾もいいことをやっているのに、広がっておらず、もったいないと感じる。

・若い人は回覧板を見ない、LINEだけでもダメ。どうやったら広報がうまくいくのか、勉強会の開催を行政なり議会なりでやってほしい。

関係人口を増やす

問 「地方創生2.0の基本構想」が6月閣議決定され、強く・豊か・新しい・楽しい地方の実現に向け取り組みが求められている。若者に限らず、住んで楽しい町・住みたい町に帰ってきたいのではないか。「ただいま★いけだまち」の推進にあたり、楽しい町の実現に向けて、町長の考えを問う。

答 誰もが帰りたくなる町であり、行政が全てを提供する優しい町ではなく、みんなで助け合える優しい町を目指す。

問 町の関係人口の把握状況を問う。

答 関係人口というと、大変範囲が広いため、一元管理はしていない。

問 進学や就職を機に町を離れた若者への情報発信やコンタクトを行っているか。

答 個人情報もあり、把握できていない。20歳の集いなどのときに、LINEの登録者数を増やす取り組みを行っている。

問 地域の魅力や特色を発信し、交流人口の増加や地域経済の活性化を図るマーケティング活動（シティープロモーション）の実施状況と成果を問う。

答 一元的なシティープロモーションはしていない。来年度は地域プロジェクトマネージャーを採用し、シティープロモーションをどうするか検討したい。



答 耕作者のコスト的な負担や農地集積、集約的な観点から見てメリットが大きいので積極的に補助事業があれば活用し基盤整備を進めていきたい。

問 商工会と提携し米作りのオーナー制度を進めたらどうか。

答 大変興味深い制度仕組みだ。全国の先進事例を情報収集しアンテナを広げたい。

問 オーナー制度はふるさと納税の側面からも活用できないか、検討の余地があると考え。今年も農業体験が非常に人気が高かった。農業の繁忙期なので農業者に、いかに関わって頂けるかが課題。オーナー制度に興味を持って頂くような取り組みを調査し取り組んでいきたい。

問 町の特産物、桜仙挾あずきの生産者は12人前後で高齢化により組合員は減少し、生産量が必要の半分しか取れない。一番のネックは自動選別機を導入出来れば今の組合員でも3倍の生産量が見込める。町として選別機械の導入を進めて頂きたいと思うが。

答 現段階では難しいが、生産拡大のできる別の方法を模索したい。農業に興味を持って移住される方々に桜仙挾あずきのPRを積極的に行い、関心ある方と組合のマッチングを考えている。補助事業メニューで組合に合うものがあれば紹介したい。



農業について

・農業従事者が少なくなり将来どうなるか心配。地域計画をもっと住民に知らせ、機械化の農業になると思うが、実態を反映した計画を。

・町民に知らされていないまま地域計画が始まっているように受け取っている。もっと町民に知らせしてほしい。農業従事者以外にも情報が届くようにしてほしい。

・信州池田アグリの説明会に出席した。圃場整備などやっているが、今の農業者の数では難しい。・信州池田アグリの説明会に参加したが、若者が担い手になる仕組み、方策を立てる必要がある。

教育について

・子どもに充てている財源について、他自治体からは評判がよく、羨ましがられる。

・教育、発達障害、子どもの育ちについての学びの場が欲しい。

・給食の食材提供者の一覧表が欲しい。

・小中学生の支援が充実している。

政策について

・人口減少問題で、キャッチフレーズが出されたが、町に愛着が持てる施策が欲しい。

短い時間でしたが、

ご意見は濃く大事な事ばかりでした。

次回もご参加お願いします。



議案採決一覧表 ○…賛成 ●…反対



区分		審査結果	矢口結以	三枝三七子	安部 誠	山崎正治	大庭美秋	中山 眞	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	横澤はま
12月定例会	議案	高瀬広域水道企業団の解散に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ハーブセンターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
		ハーブガーデンの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度一般会計補正予算(第7号)について	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度一般会計補正予算(第8号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度水道事業会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願・陳情	私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		耕作者の地位安定と新規就農者の育成を目的とした賃貸料設定に関する請願書	趣旨採択	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
	発議	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		高額医療費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※横澤議長は表決には加わりません。※薄井議員は療養のため欠席。

請願・陳情

陳情第5号 私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情

陳情者：中信地区私学助成推進協議会 会長 保木大典

○結果：採択

陳情第6号 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬 10%以上引き上げを求める陳情

陳情者：長野県医療労働組合連合会執行委員長 小林吟子

○結果：採択

賛成討論：服部久子議員

2024 年度訪問介護の基本報酬引き下げで訪問介護事業所の倒産件数は今年過去最多。高齢化が進む中、介護施設減少で介護が必要な高齢者の居場所が喪失。医療機関も多くが赤字経営。医療や介護従業者の報酬引き上げ、安心できる環境を整える事は喫緊の課題。

陳情第7号 高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情

陳情者：長野県社会保障推進協議会 代表委員 6 名

○結果：採択

請願第8号 耕作者の地位安定と新規就農者の育成を目的とした賃貸料設定に関する請願書

請願者：立岩義博 紹介議員：三枝三七子

△結果：趣旨採択

趣旨採択理由：地権者と話し合いが必要でもあり、趣旨採択が妥当である。

賛成討論：三枝三七子議員

この請願は高齢化等で地権者が耕作不可能な農地の耕作を委託する従来の方法の問題点の改善を指している。耕作地の賃貸料と高騰する農業経費に、耕作依頼が重なるほど賃料支払いが増額する現状は、担い手には大きな負担となっている。既に県内の自治体で農地の流動化補助金は設置されている。(長野市、千曲市、飯田市、松川村、東御市、安曇野市、伊那市、山ノ内町、下條村、原村、売木村、高山村、宮田村)



阿智村行政視察報告

令和 7 年 10 月 16 日～ 17 日
場所：阿智村

【観光振興と教育改革】

池田町は観光者数と観光消費額の面で、観光振興に課題を抱えている。また、信州池田町教育大綱により、教育に力を入れている。今回、「星ふるさと」で観光振興を図り、教育では学力向上を推進している阿智村を視察しました。

1. 村概要

現在の阿智村は平成の大合併で、旧阿智村と浪合村と清内路村の 3 村が合併し、令和 7 年 6 月現在の人口は 5,708 人である。そして、「若者が夢と希望を持てる村」を目指し、観光並びに農林業の産業振興を図り、教育にも力を入れている。当年度一般会計当初予算は 76 億 700 万円で当町の 54 億 1,800 万円の約 1.4 倍の規模である。

2. 観光振興

平成 18 年に環境省主催の全国星空継続観測で日本一となった事を受け、JTB からの発案で始めた星空観光「星ふるさと阿智村」をスローガンに掲げ、地域資源を活用した観光振興に取り組んでいる。そして、星ふるさと「日本一の星空と花桃といで湯の郷」の CI 戦略（市場調査など）を展開し、ヘブンスそのはらの星空ナイトツアーや日本一 1 万本の本数を誇る花桃の里などで年間 130 万人の観光客が訪れ、関係人口の創出に成果を上げている。また、行政では出来ない民間の力を活用し、サンリオやサッポロビールなどの企業の助言も受けている。そして、様々な部門を民間に委託連携し、地域の活性化を図り、行政も、補助金等で積極的に支援している。さらに、リニアを見据えた新たな町づくり構想で、「夢のある未来へ」進んでいる。

観光以外に農業・林業・地域・歴史・社会教育・山村留学など役場の仕事を会社組織にしており、当町でも参考になると感じた。また、JTB などの企業の担当者に当町の観光施策を聴いて考えることも必要でないかと思った。

3. 教育改革

学力を重視しており、通常は勉強が遅れている子へのサポートが多いが、配慮しながら「勉強をやりたい子」へのサポート体制がある。中学校の英語・数学に習熟度別講座や放課後公営学習塾「若駒アカデミー」を実施している。また、オーストラリアやシンガポールに語学研修を実施し、3 分の 2 の 40 万円を補助している。さらに、小規模校の学力向上支援策として、クラス編成では無理に 1 学年 1 クラスを残すのではなく、複式学級で 1 担任 1 支援員方式を取る工夫をしている。また、「ふるさと教育」に使用する教材や冊子が部門ごとに 5 冊もあり充実していた。

学校改革では説明会を各地域で開くなど、丁寧に取り組んでいる印象であった。満蒙開拓記念館では平和教育の次世代への継承が行われており、当町でも活用が必要であると感じた。

写真説明

- A. 阿智村役場
- B. 観光産業の説明
- C. 教育課一家卵の説明
- D. 満蒙開拓平和祈念館
- E. 川本喜八郎人形美術館
- F. 飯田市美術館

観光資源や財政規模は異なるが、池田町にとって先進的で有意義な取り組みが多く、今後の活動の参考として行きたい。



TAさん 地区：吾妻町

町制施行、合併の記念事業：元気なまちづくり事業として日本アルプス・あづみの「民衆の歌」音楽祭が開催されました。てるてる坊主と信濃の国を参加者全員で歌った事、また伝統文化、花見の獅子舞、和太鼓、池田八幡社の中町（2丁目）のお囃子、堀六平の母さんの歌等本当によかったと思いました。



去年は
こんなイイコト
ありました！

このページは、皆さんの町政・議会へご意見や、お考えを掲載しています。取材に行きましたらご協力下さい。



クレナ・クロケットさん (マリンバ奏者) 地区：和合

ライフ・チェンジの年となりました。米国セントルイスから帰国し、両親の住まいのある池田町へ。

自分を見つめ直し、日本の旬の物を食し、豊かさを感じています。夫は子どもたちを育てるのに日本のような伝統が残っている環境が良いと考えたようです。日本で誰もが歌える童謡（ふるさと・お正月）などは、米国にはありません。そういう協調性も素晴らしいと感じ、子どもたちの心の置き場所を見つけられたらと思います。

町の人の声



屋根 晴美さん 地区：渋田見

新しい年を迎えた。去年は「80の壁」が厚かったと痛感した。今年こそ希望ある年にしたいと思う。高齢化社会において、孤独にしない、孤立させない、との声が大きくなっている。そんな中、住民主体による介護予防事業としてボランティアの皆さんによる「カフェおいで」が立ち上がった。参加する皆さんの想いの場となり、大きな役割を果たし喜びの声が多くなっている。この町に住んで良かった！と思えるよう、池田町の今後に期待したい。

T.Wさん 地区：会染

今年から農業の後継者が決まり安心しました。

米の値段が1俵60kg1万円以上あがり、また豊作との事。農家にとってようやく息がつける年となりましたが、物価高騰が続き生活困窮者が多くなっている、米が高止まりして米を食べられなくなってしまう心配です。早く政府がこの物価高騰問題を早急に解決してくれることを願っています。

荻窪 善明

地区：広津さん

消防団長として…12名の新人団員が入団し、町のために一緒に活動してもらっていること。

個人として…人生の折り返しで起業し、新しいチャレンジが始まったこと。



【編集後記】

頼りにしている先輩議員が病欠となられました。それは大変なことでした。議員を一人減らせばという予算的な考えも聞かれますが、「そんな問題ではない」と感じました。すべての頁の構成を委員全員で考え、意見を出し合いました。改めて本議会を俯瞰すると、この町が大事に思っている事のひとは、子育て世代であり、未来に向けて働きかけていると感じました。「池田町の変わり目かな」と、光を感じる今日この頃です。

全国的な人口減少と、過剰な円安に端を発した不景気は出口が見えません。

しかし、池田町の美しい景色は変わらず山と空は見守ってくれているようです。世事に我を見失わず、この町らしく穏やかに本年も過ごせたらと思います。

三枝三七子

【議会報編集特別委員会】

委員長 薄井孝彦

副委員長 服部久子

委員

三枝三七子

安部 誠

和澤忠志

次回議会だよりは令和8年4月22日を予定

発行/池田町議会 ◎企画・編集/議会報編集特別委員会

●住所 長野県北安曇郡池田町大字池田3203-6(池田町役場内) ●TEL:0261-62-3131・FAX:62-9529
●E-mail:gikai@town.ikedamachi.jp ●ホームページ:https://www.ikedamachi.net/